

伝統工芸である京指物の自社工場一貫生産 三方良しの精神で、お客様・社員・社会に喜ばれる会社へ

1856年、京都御所南の夷川通で京指物職として創業。以来、京指物の技術を生かして家具を作り続け、幕末の動乱、戦争など幾多の困難を乗り越え、豪華客船（大阪商船あるぜんち丸）の内装を手がけたことを機に建築内装業へ進出。自社工場での一貫生産を徹底している。皇居豊明殿、京都迎賓館をはじめ、社寺仏閣、公共施設、ホテル、学校、個人邸など時代を代表するような内装に携わり、現在も京指物の技術を継承しながら最先端の技術を取り入れ木材の持つ美しさ、あたたかさに満ちた空間を提供している。

| | | | |
|--------|---|------|---------|
| 所在地 | 京都市中京区夷川通堺町西入る絹屋町129 | 設立 | 1856年 |
| 電話/FAX | 075-222-8112/075-222-8113 | 資本金 | 8,800万円 |
| URL | http://www.miyazaki-mokuzai.com/ | 従業員数 | 107人 |
| 代表者 | 代表取締役社長 宮崎 真里子 | | |



伝統工芸である京指物の技術を伝承し、高い技術を誇る

質の高い仕事に欠かせないよい原材料を、現在、樹種にして150種類以上保有。貴重な材料を使用して、木取り⇒化粧⇒貼り⇒加工⇒組立⇒塗装までを同社工場内で行うことで、長年変わらない品質を生み出している。また、それらを支えるのが社員の持つ高い技術であり、同じものを大量に作る工場ではなく、人が作っているため、社員一人ひとりが財産となる。京指物伝統工芸士2名、一級建築士2名ほか資格保有者を多く有し、京都で長年仕事をしてきたことで、伝統工芸のネットワークを持つ。



材料選びから一貫した自社生産体制

三方良しの精神でお客様、社員はもちろん地域・社会にも喜ばれる会社を目指す

若い人材を重要と考え、8名を新規採用し、3ヶ月間でいろいろな部署を経験させ、適正のある部門に配属、配属先の先輩社員と、社内全体の教育係とによる人材育成を行っている。社内の研究室を中心に新技術開発を行い、技術相談や製品試験などで産業支援機関とも連携している。人、技術、組織、製品、施設などすべてが一流になることを目指し、安定した経営で社員の幸せを達成する。社員の98%が正社員であり、本人のやる気があれば定年以降、何歳でも働ける。育児休暇、時短で女性が一生働ける会社を目指す。



技術を若い社員に継承

“ホンモノ”を残し伝えるために木材の無限の可能性に挑戦

同社の仕事は、工場内では完成形を見ることができないため、完成現場を視察する機会を設けたところ、貴重な研修の場になり、モチベーションアップにもつながっている。皇居の新宮殿・豊明殿の内装や家具・調度品、京都迎賓館の漆の和家具、京都コンサートホールの内装など時代を象徴するような仕事を手掛けたことが、社員の大きな自信となる。茶室や能舞台の移築など、木に関わることであれば内装とは異なる仕事も手掛け、さらには研究室を立ち上げて、不燃・難燃の素材開発にもチャレンジしている。



新宮殿 豊明殿